

# おおてみち

第131号

令和7年(2025年)4月1日  
滋賀県立安土城考古博物館

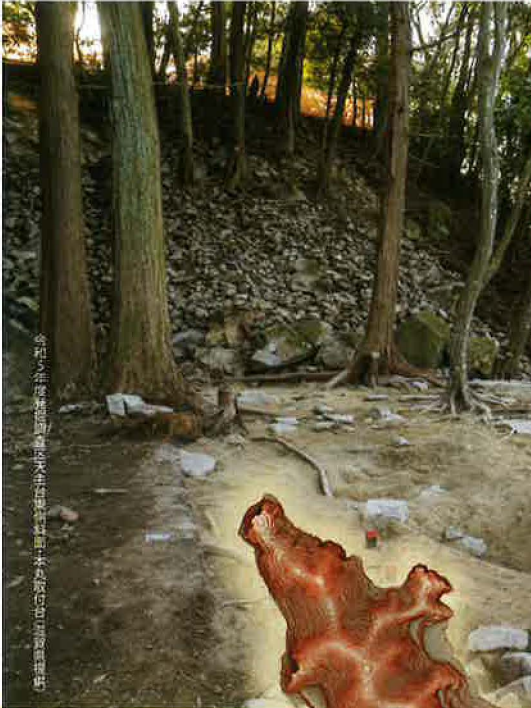
## 安土城

信長の

夢のあと

# 2025

令和7年度春季特別展 安土城築城450年・発掘調査85周年記念



令和5年度発掘調査で完全復元された土塁跡。本丸跡の石垣が確認された。



特別史跡安土城跡赤色立地地図(滋賀県提供)

令和7年  
4月26日(土) - 6月15日(日)

- ◆開館時間 午前9時～午後5時 ※入館は午後4時30分まで
- ◆休館日 5月7日(水・12日)、19日、26日、6月2日、9日
- ◆入館料 大人970円(700円) / 大学生700円(520円) / 小中高生420円(310円) / 県内高齢者(65歳以上)510円(390円)
- ※( )は20人以上の団体料金です。
- ◆主催 滋賀県立安土城考古博物館

近江風土記の丘



滋賀県立 安土城考古博物館  
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum



令和7年度地域連携企画展 「明智光秀と近江」 6月3日(火) - 8月3日(日) 会場：第2常設展示室

令和7年度春季特別展  
安土城築城450年・発掘調査85周年記念

「安土城・2025」

—信長の夢のあと—

会期：令和7年4月26日(土)～6月15日(日)  
会場：企画展示室・第二常設展示室の一部

安土城は織田信長が天正四年(一五七六)から築城を開始し、天正七年頃には天守周辺の主郭部が一旦完成したものの、天正十年、本能寺の変直後に明智光秀の軍勢に占拠され、まもなく天主をはじめとする主郭部が焼失しています。

これまででは信長在世期の安土城にスポットが当てられてきましたが、信長死後の安土城についてはあまり注目されることはありませんでした。しかし安土城は信長が横死し、廃城となった後も維持管理され、また調査・研究・整備を通して後世へ遺されてきました。

本展では安土城を歴史的に捉えるという原点に戻り、廃城以降の安土城の変遷をたどります。そして、昭和、平成、令和と続く発掘調査と整備の成果を紹介します。(佐藤佑樹)

【主な展示資料】

◎重要文化財、□市指定文化財

◎八幡山下町中掟書(近江八幡市蔵) 5/20～6/15

◎鉄鐺—永楽銭据紋銀象眼—(摠見寺蔵) 実物は5/20～6/15

日本史 第二巻(上松徹氏蔵)

仁正寺太守代々登山記録(摠見寺蔵)

史蹟安土城址指定地内二健碑ノ件 通牒(摠見寺蔵)

昭和十五年天主台発掘調査時出土資料(摠見寺蔵)

平成元年～二十年発掘調査時出土資料(滋賀県蔵)

令和五・六年本丸取付台発掘調査時出土資料(滋賀県蔵)

〈春季特別展関連講座〉

『廃城以降から考える、

安土城の歴史と調査』

① 5月10日(土) 13時30分～15時

「廃城後の安土城」

講師 佐藤佑樹(当館)

② 5月24日(土) 13時30分～15時

「安土城 平成の調査」

講師 岩橋隆浩氏(滋賀県文化財保護課)

③ 5月31日(土) 13時30分～15時

「安土城 令和の調査」

講師 松田篤氏(滋賀県文化財保護課部)

参加費 五〇〇円(資料代)

会場 当館二階セミナールーム

定員 一一〇名

〈城郭探訪〉

4月27日(日) 10時～16時 定員10名

「観音寺城跡と桑實寺」

5月11日(日) 13時～16時 定員20名

「安土城跡」

参加費 各二〇〇〇円(入山料・入館料・保険料含む)

雨天中止

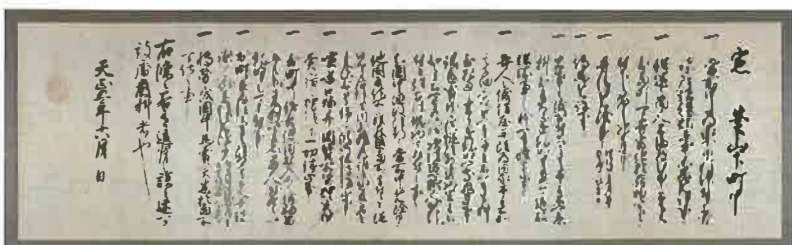
※事情により行事内容や日時が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。



□ 近江国蒲生郡安土古城図 (摠見寺蔵) 4/26～5/18



伝二の丸東溜り出土瓦群 (滋賀県蔵)



◎ 安土山下町中掟書 (近江八幡市蔵) 4/26～5/18

## 資料紹介

### 供養塚古墳出土の埴輪（県指定文化財）

滋賀県近江八幡市千僧供町所在



供養塚古墳は、古墳時代中期から後期にかけて営まれた千僧供古墳群（県指定史跡）を構成する古墳の一つで、墳丘の大半は失われていましたが、発掘調査によって墳丘裾と周濠が見つかると、五世紀中頃に築かれた全長約五十三メートルの帆立貝形前方後円墳であることが確認されたほか、方形の造り出しでは多量の埴輪が出土しています。

墳丘規模と平面プランは、古市古墳群の中央に位置する応神天皇陵古墳の西側に築かれた蕃上山古墳と同一であり、円筒埴輪の製作技法や馬形埴輪に百舌鳥・古市古墳群の埴輪との共通点が認められることから、被葬者は王権の中枢で大王を支

えた人物と考えられています。

出土した形象埴輪のうち、人物埴輪、馬形埴輪、家形埴輪の三点は以前紹介しましたが、本号ではその際に紹介しきれなかった鳥型埴輪、蓋形埴輪、もう一つの家形埴輪を紹介します。（藤崎高志）



家形埴輪



鳥形埴輪

蓋形埴輪

## 新しくなった博物館 いよいよオープン！

昨年度から進めていた博物館の改修工事が終了し、五面スクリーンを活用した八角形のシアターでは、「織田信長と安土城」宣教師ヴァリニャーノがみた天下人の城」と題する映像を上映します。信長と親交があり、安土城を訪れたことがある宣教師ヴァリニャーノと信長が、安土城内で語り合うドラマ仕立てでストーリーが展開します。二人の会話の中で、信長がなぜ安土城を建てたのか、どのような国づくりを目指したのか、宣教師との親密な関係が語られます。また、最新の研究に基づき、安土城の復元3DCGも注目です。五面スクリーンの効果を最大限活かした迫力ある映像をお楽しみいただけます。

また、この映像につづいて、安土城調査研究の最新状況が紹介されます。複数ある天主復元案や発掘調査の成果などが五面スクリーンに次々と映し出されます。

シアターで安土城に関する最新情報を知っていただいた上で、現地に行っていたらと安土城に対する理解がより深まると思います。秋には現地で使えるアプリも公開予定です。ですので、博物館とセットでお楽しみください。

（滋賀県文化財保護課）



令和7年度春季特別展「安土城・2025」4月26日(土)～6月15日(日)					
特別陳列Ⅰ・地域連携企画展「明智光秀と近江」 6月3日(火)～8月3日(日)					
特別陳列Ⅱ「城郭出土の笏谷石」 6月17日(火)～7月19日(土)					
6月	5月	4月	3月	博物館の主な催し	
2日(月) 休館日 7日(土) 連続講座Ⅰ「近江の城 調査・研究の最前線」①「坂本城跡調査の最新成果」 講師：岡田有矢氏(大津市市民部文化財保護課) 9日(月) 休館日 14日(土) 特別陳列・地域連携企画展関連講座「中世都市坂本と明智光秀の築城」 講師：福島 氏(大山崎町歴史資料館館長) 16日(月) 休館日 21日(土) 連続講座Ⅰ「近江の城 調査・研究の最前線」②「中世近江の採石と城」 講師：渡邊貴洋氏(野洲市教育委員会文化財保護課) 23日(月) 休館日 30日(月) 休館日	31日(土) 特別展関連講座「廃城以降から考える、安土城の歴史と調査」③「安土城 令和の調査」 講師：松田篤氏(滋賀県文化財保護課) 26日(月) 休館日 24日(土) 特別展関連講座「廃城以降から考える、安土城の歴史と調査」②「安土城 平成の調査」 講師：岩橋隆浩氏(滋賀県文化財保護課) 19日(月) 休館日 12日(月) 休館日 11日(日) 城郭探訪②安土城跡(要予約) 10日(土) 特別展関連講座「廃城以降から考える、安土城の歴史と調査」①「廃城後の安土城」 講師：佐藤佑樹(当館学芸員)	7日(水) 休館日 27日(日) 城郭探訪①観音寺城跡と桑貫寺(要予約)	7日(月) 休館日 14日(月) 休館日 21日(月) 休館日		18日(火) リニューアルオープン

博物館の主な催し

## 令和7年は明智光秀の年!? @安土

主君信長を討つたにも関わらず三日天下に終わった光秀の不運は、現代まで続いているようです。大河ドラマの主人公に抜擢され、イメージが刷新できると期待された二〇二〇年は、新型コロナウイルスの大騒ぎで、思ったほど成果が上がっていませんでした。

なんとか次の風が吹かないかと思っていた昨年末、大津市の聖衆来迎寺でしばらく所在不明であった光秀の寄進状が発見され、話題となりました。当館では、滋賀県立琵琶湖文化館の特別協力を得て特別公開(二月七日～二月四日)を行い、千七十五人の皆さんにご覧頂きました。

令和七年度は、さらに光秀への関心を高めていただくため、当館と令和九年の新設開館が待たれる琵琶湖文化館が協力し、両館が所蔵する光秀関係の資料を紹介する地域連携企画展「明智光秀と近江」を、六月三日(火)から八月三日(日)までの間、第二常設展示室の一角で開催します。前述の光秀寄進状も再度登場しますし、関連講座も開かれます。特別公開を見逃した方もご覧になった方も、ぜひご覧頂きたいです。(高木叙子)



※リニューアルオープン当初は、混雑が予想されますので、シアターを視聴される方は、事前予約がお薦めです。こちらから予約ができます。→

※講演会・講座の会場は当館セミナールームです。

※城郭探訪は事前申込制となっております。詳細は、電話でお問合せください。当館ホームページおよび講座の広報チラシでもご確認できます。

※事情により行事内容や日時・講師が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認下さい。

※滋賀県立安土城考古博物館は公益財団法人滋賀県文化財保護協会が指定管理をしています。



おおてみち 第131号  
令和7年(2025年) 4月1日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678 TEL0748-46-2424

E-mail: gakupei@azuchi-museum.or.jp URL: https://www.azuchi-museum.or.jp